

3

むかしむかし、みの^{きち}吉という、若い^{わか}鉄砲^{てっぽう}打ちがいました。
た。

みの^{きち}吉はいつも、父親^{ちちおや}の茂^{しげ}作^{さく}と一緒に、鉄砲^{てっぽう}を持って
山^{やま}に登^{のぼ}っていました。

ある、冬^{ふゆ}の日^ひのこと。

二人^{ふたり}はいつものように、鉄砲^{てっぽう}をかついで山^{やま}に入^{はい}りました。
た。

その日は朝^{あさ}から雪^{ゆき}が降^ふっていて、その雪^{ゆき}も、時間^{じかん}とともに
どんどん強^{つよ}くなりました。

雪^{ゆき}と風^{かぜ}で目^めの前^{まえ}が真^まっ白^{しろ}になり、二人^{ふたり}はめずらしく、
道^{みち}にまよってしまいました。



5

しばらく^{やま なか}山の中をさまよっていた二人^{ふたり}は、やがて^{ふる}古い
山小屋^{やまご や み}を見つけました。

「おお、助^{たす}かった。今日^{きょう}はここで休^{やす}もう」

「はい、おっとう」

二人^{ふたり}はよほど^{つか}疲れていたのか、小屋^{こや}に入って横^{はい よこ}になっ
たとたん、すぐ^{ふか}に深く^{ねむ}眠り込^こんでしまいました。



2 5

Once upon a time, there was a young hunter called Minokichi.

Minokichi and his father Mosaku, who was also a hunter, always climbed the mountains with their guns.

It was one day in winter.

The two went into the mountains with their guns, as usual.

It had been snowy since the morning and as time went by the snowfall became heavier and heavier.

The snow and the wind blinded their surroundings and they lost their way, which was unusual for them.



27

After wandering around in the mountains, they found an old cabin.

“Ah we’re safe now. Let’s sleep here for tonight”

“Yes, father.”

They must have been so tired that they fell asleep deeply right after lying down in the cabin.

